⑪ 焼き板

概要	杉の板材（250 ㎜×150 ㎜×13 ㎜）を焼き上げ作品を作ることができます。完成した作品にヒートンと紐をつければ、お部屋の入口などにかけることもできます。			
ねらい	・主体性、積極性を育みます。 ・創造性や独創性を豊かにします。 ・火を使った活動を取り入れる事ができます。			
条件	対象	幼児～	人数	制限なし
	時期	５月～１０月	実施の判断	―

貸出物品 ・準備物	自然の家（貸出物品）	団体（準備物）	個人（準備物）
	□焼き板セット【有料】 □薪【有料】 □たわし □かまど、半割りドラム缶 □火ばさみ、スコップ、ほうき	□マッチ、ライター □新聞紙 □ポスターカラーなど絵付け用の道具	□汚れても良い服装 □軍手 □磨き用の布・雑巾

引率者の役割	・準備…事務所に声をかけ、必要物品の受け取りやかまどの配置等の準備を行う。 ・全体指導…時間管理や全体の状況把握を行い、必要な指示をする。 ・安全管理…火の取り扱いに十分注意して適切な人員配置で指導に当たる。
自然の家職員の役割	・かまど配置等の準備の支援を行う。 ・活動の手順説明や安全に関する指導を行う。 ・活動終了後の片付けの確認を行う。
活動の流れ （２～３時間）	【準備】 ・　見本やキットの確認と作成手順を熟知します。 ・　個数、薪の数を確認し、「食事・教材等注文書」にて注文します。 【活動】 ・　売店で焼き板セットを受け取ります。 ・　かまど、半割りドラム缶、作業台等を準備します。 ・　職員が安全面について説明します。 ・　机が汚れないように新聞紙を敷きます。 【実施後】 ・　作成した焼き板は、乾燥室で乾燥させます。 ・　残炭の処理と現状復帰をします。 ・　借用物品等を事務室へ返却します。
安全管理 留意事項	・　荒天時の代替プログラムとして計画できます。キャンセル料はかかりません。 ・　床、机などを傷つけたり、汚したりしないように配慮してください。 ・　壁掛けに限定することなく、鍋敷きやコースターなど子供の発想を活かした活動になるよう配慮してください。 ・　薪１セットで１０～２０枚焼くことができます。 ・　用具使用後点検を行い、返却をお願いします。 ・　火を扱うので、火傷など怪我の予防に努めてください。